

市内社会福祉施設 施設長各位

医療局健康安全課長

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止について（依頼）

日頃より感染症の拡大防止対策等に御協力をいただきありがとうございます。

現在、横浜市内では、新型コロナウイルス感染症の定点あたりの報告数が第 31 週（7 月 28 日から 8 月 3 日）時点で 5.94 となっており、6 月中旬以降増加傾向が見られます。夏は外出やイベントなど人流が増える時期であり、特に感染対策に注意が必要です。

新型コロナウイルス感染症の集団感染の発生予防・拡大防止のため、各施設におかれましては、手洗いなどの手指衛生や換気等の基本的な感染対策に引き続きご注意ください。

※定点あたりの報告数

市内定点医療機関から報告された 1 週間分の患者数の平均値

【添付資料】

- (1) 横浜市感染症臨時情報「新型コロナウイルス感染症の報告が増加！」
- (2) 厚生労働省リーフレット「感染症対策へのご協力をお願いします」

横浜市医療局健康安全課

担 当：健康危機管理係 小林・相原・梶

電 話：6 7 1－2 4 6 3

F A X：6 6 4－7 2 9 6

新型コロナウイルス感染症の報告が増加!

【概況】

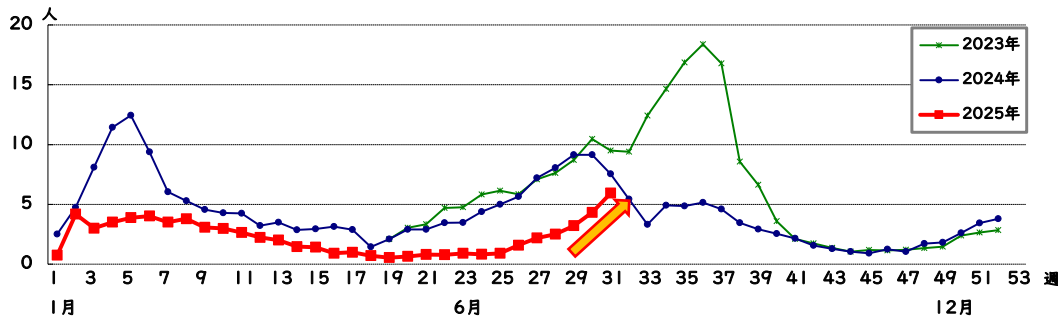
2025年第31週(7月28日~8月3日)の定点当たりの患者報告数[※]は、横浜市全体で**5.94**となり、6月中旬(第25週)以降、患者報告数が増加しています。

患者の年齢構成は、50歳代が17.8%と最も多く、10歳未満が15.0%、60歳代が13.2%となっています。

※ 1週間に1回、定期的に医療機関(市内90か所)からご報告いただいた患者数の平均値です。

【市内流行状況】

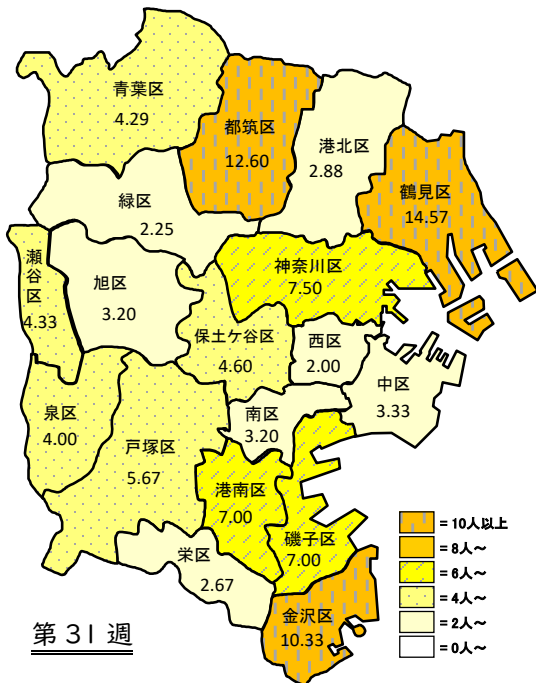
新型コロナウイルス感染症は、2023年第19週(5月8日~5月14日)から定点把握疾患となりました。2025年は緩やかな減少から横ばいの状態が続いていましたが、第25週以降、増加に転じています。第31週は5.94です。



定点あたりの患者数推移

2023年第19週~2025年第31週

※ 2025年14週(3月31日~4月6日)以降、定点医療機関が153→90機関へ変更されました。



新型コロナウイルス感染症とは

潜伏期は通常1~7日で、

感染者から1~2m以内の距離で、ウイルスを含んだ飛沫やエアロゾルを吸うことで感染します。換気が悪い室内は注意が必要です。ウイルスがついた手で粘膜(口・鼻・目)を触ることで感染します。咽頭痛、鼻汁・鼻閉といった上気道症状に加え、倦怠感、発熱、筋肉痛などの全身症状を生じることが多いですが、無症状の人もあります。軽症の場合、多くは発症後1週間以内に症状が改善しますが、症状が持続(いわゆる後遺症)する場合があります。予防には、マスク着用を含めた咳エチケット、換気、手洗いやアルコールによる手指消毒、ワクチンなどの基本的な感染対策が効果的です。

登校(園)基準は、発症した後5日を経過し、かつ、症状が軽快した後1日を経過するまで出席停止とされています。なお、発症から10日を経過するまでは、当該児童のマスク着用が推奨されています。



最新の感染症情報は
横浜メディカルダッシュボード



感染症対策へのご協力をお願いします

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

①手洗い

正しい手の洗い方

手洗いの前に

- ・爪は短く切っておきましょう
- ・時計や指輪は外しておきましょう

1



流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。

2



手の甲をのぼすようにこすります。

3



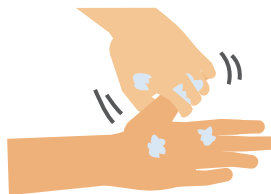
指先・爪の間を念入りにこすります。

4



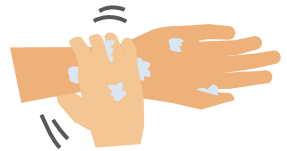
指の間を洗います。

5



親指と手のひらをねじり洗いします。

6



手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

②咳エチケット

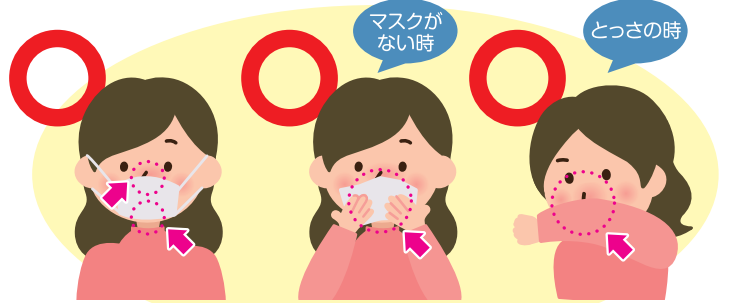
3つの咳エチケット

電車や職場、学校など人が集まるところでやろう



何もせずに咳やくしゃみをする

咳やくしゃみを手でおさえる



マスクを着用する(口・鼻を覆う)

ティッシュ・ハンカチで口・鼻を覆う

袖で口・鼻を覆う

正しいマスクの着用



1 鼻と口の両方を確実に覆う



2 ゴムひもを耳にかける



3 隙間がないよう鼻まで覆う

首相官邸 Prime Minister's Office of Japan

厚生労働省 Ministry of Health, Labour and Welfare

厚労省

検索



市内医療機関での患者報告数が増加しています。

感染拡大防止のため、上記対策に引き続きご協力ください。(令和7年8月 横浜市保健所)